（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十二年五月十八日【日刊】　新いわき　火曜日　第二千五十四號（一）

五月十七日　夕刊

日刊但シ日曜祭日翌日休刊一ケ月廿五錢　郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢　二十錢增
場所指定
發行兼編輯印刷人　平谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

三萬町民待望の市制施行諮問答申

平窪村は昨日平町は今十七日　何れも萬場一致で可決

三万町民待望の平市制は主務省からの諮問「石城郡平町及び平窪村を廢し其の區域をもつて平市を置かんとす仍つて其の會の意見を問ふ」に對し縣では去る十五日の參事會に於て

昭和十二年五月十四日御諮問に係る石城郡平町及び平窪村を廢しその區域をもつて平市を置かるゝの件參事會に於ては異議無之右意見答申に及び候也

を滿場一致で可決され次へで平窪村では昨十六日午前十時右に關して村會を開き定員十二名の中豫ねて反對運動を續け前記十五日の縣參事會にも否決の陳情運動に出縣したる木田村議外薄葉、上妻、根本吉野の議員缺席したが同村會に於ても全員一致を以て

昭和十二年五月十四日內務省福地第二四號御諮問に係る石城郡平町平窪村を廢し其の區域を以て平市を置かるゝの件當村會に於ては異議無之右意見答申候也

を可決し尙ほ知事の諮問に係る財産處分の件に關しては五月十四日縣達第一二九號御諮問に係る平窪村及び平町を廢し其の區域を以て平市を置かるゝ場合に於ける財産處分の件當村會に於て

は異議無之右意見答申候也の答申また全員一致で可決され今十七日は午後一時から平町に於て內務大臣に對する答申並びに知事宛答申の財産處分の件を全員出席の滿場一致を以て平窪村に同じく意議なしと決したので右答申書を縣から出張の會田地方課屬が携行縣では明十八日參事會を招集したる後直ちに全書類を主務大臣に提出の筈であるが六月一日から實施される告示は二十日頃かと云はれてゐる

縣下職紹所長會議

去十五日から湯本町に於て　十六、七日は地方視察

縣下の職業紹介所長會は石城郡湯本町紹介所の當番主催で去る十五日から今十七まで同町に開催され縣から岩瀨社會課長、鄭織屬、福島聯隊區職業補導部の宮尾主事、福島、若松、郡山の各所長並に主催者平職業紹介所から四家所長及び神長倉、市原所員、湯本紹介所からは中里所長、石川町長、收入役、喜多方、白河坂下、棚倉、會津大宮の五所新設紹介所關係者、尙ほ番外員に求人側の入山、磐城、古河、大日本各炭礦鄭村の昭和人絹會社人事主任出席湯本町會議事堂に於て、

國庫補助交付に關する件外十九件、懇談事項除隊兵就職斡旋に關する打合會開催の件外十二件、

求人側の提出に係る（磐城炭礦勞務課提出）出稼人保護組合を福島縣にも組織し職業紹介所と密接なる連絡をとること、

身体檢査を必ず行ふこと、思想狀態に重點を置かれること、

等を午前八時より午後六時までに終了翌十六日は午前七時半湯本町集合で一同磐炭、入山、小名濱商港、昭和人絹を視察し今十七日は湯本驛發午前七時四十四分で茨城縣日立製作所の視察後解散した

常識講座

チャーターは傭船の契約をすることだが傭船を指してチャーターと呼んでもゐる、チャージと云へば課することまたは積み込むことでチャーチならば寺院或は教會のことである、

傳貧馬の豫防檢診

石城第一區日割

石城產馬組合では三森技手により來る二十五日から左記日割を以て馬匹の傳染性貧血病豫防檢診を行ふと

▲二十五日田人村出旅人　二十七日同村上下黑田　二十八日同村南大平　入旅人　二十九日荷路夫村荷路夫一圓　三十日貝泊村貝泊戶草　三十一日石住村石住一圓、厥平

馬の生產能率講習會

縣下三ケ所で

縣產馬畜產組合聯合會主催の生產能率增進講習會は來る二十日から縣下三ケ所（双葉郡富岡、田村郡小野新町、西白河郡小田川）に於て開催の筈であるが富岡町は二十日、二十一日の兩日で講師は河原田地方農林技師、受講資格は種牝馬管理者、獸醫師、蕃殖從業者等講習料は無料で其の他の費用は受講者の負擔になつてゐる

施肥改善の稻作設計

植田の佐糠組合で

石城郡植田町の佐糠農事實行組合は縣下に於ても模範組合に屈指されて居り施肥改善指導地になつてゐるが今十七日午後一時から古川組合長宅に幹部會を開催し吉成郡駐在農林技手出張一町歩の指導地に

つき實地調査の上稻作の設計をなした

あまこの定期乘合宮で汽車に追突

昨日綴驛磐炭專用線踏切で　乘客四名何れも負傷

平町二丁目あまこ自動車業平宮間定期乘合自動車運轉手石城郡飯野村大字谷川瀨字堂の入九原田猛(二四)は昨十六日午後十二時四十七分頃四名の客を乘せて平町方面へ向け疾走の途上磐城炭礦專用線踏切に差かゝつた際貨物車の驀進し來たるに氣づかず通過せんとして自動車後部に汽車の追突を受け尙ほ汽車の非常汽笛に狼狽して急ブレーキを入れたのでもんどり打つて轉覆したために乘客左記は何れも十日乃至二週間の負傷したが運轉手は無事であつた

負傷の乘客內郷村高坂字御殿二四號一〇長屋居住山口富榮(三〇)同村宮字瀧吾妻よう(四一)石嵜郡植田町中村明之助(六三)同中村龜三郎(二四)四名

港灣技師視察

農林省港灣技師小田賢郎氏は數日來石城郡に出張し四倉漁港の視察を終り今十七日は板谷平土木監督所長の案內で江名、豊間、伸の作、小名濱の各漁港の視察を行ひ午後歸京した

磐城無盡會社員の使ひ込み

平町字大町二三磐城無盡會社の整理係石城郡草野村馬の目字中道一一七字佐美爲義(四三)は去る昭和六年二本松出張所主任時代加入者からの掛金三千圓を使ひ込んでゐること平署に探知され去る四月中旬來同署の取調べ中であつたが使ひ込みは遊興と生活費に消費されたもので最近同社へ辨償の途を立てたので近く書類のみ檢事局送りとなる模樣

大浦堆肥品評會

石城郡大浦村の農會主催の堆肥品評會は明十八日審査の筈で吉成同郡駐在農林技手出張すると

中堅農講同窓會

好間村支部會

石城郡中堅農民講習會同窓會好間支部では今十七日午後一時から同村小學校に於て開催され郡農會から柴田技手臨席農事に關する講話をなした

驛長、機關區長檢車區長の會議

水道運輸事務管內勝田…平開平…小川郷間　水戶線友部…結城間に於ける各驛長並びに機關區長、檢車區長聯合協議會は來る二十四日午前十時から水戶市鐵道會議所に於て催されると

平局の運動部四部の主將と副將

平郵便局では今年度の運動部役員を此程左記の如く決定したと

▲野球部主將酒井利一郎　副佐藤傳一郎▲庭球部主將　副阿部保正▲弓道部主將白石歳市　副永山浩氣▲卓球部主將齋藤久美子　副大平はな

家出の長男を捜索願

簡閲點呼に當るので

山形縣南村山郡東澤村長谷堂遠藤惣吉の長男惣次郎(三〇)は一昨年十一月十六日石城郡方面の炭礦稼ぎをして來ると出かけたまゝ音信不通でゐるが同人は本年度簡閲點呼に當つてゐるので不參する樣なことがあつてはならぬと今十七日實父惣吉から平署に捜索方を願出た

今晚は北西の風、晴
明日は南の風、曇
（小名濱測候所）

時言　郷土を把持する苦悶

（關外三區の選擧を直視して）

【5】

勿來生

其の時こそ吾人は敢然として蹶起し、彼等の進退、是非を衆決する一個の國民的態度を發揮すればよいのだ、吾人は齊しく草莽の微臣、微子たる以上、自己の尊き精神の前には、俗情も傳統も逡巡もないわけだから、一切之を打切て最も信ずる人物を擧げればそれで容易く選擧の本分が達せられるわけでないか、

此に甚だ畏れ多い引例であるが、明治大帝の御製に

世を治め人をめぐまば天地の、ともに久しくあるべかりけれ

とある、吾人は之を拜誦すると、唯々感泣するばかりでないか、尙しくも吾人が選擧したる議員てふ輩が、右の御製らざれば、他に如何なる人を求めるか、と私は國家擁護の見はれた宏大無邊なる國民信念を有たねばなるまい、否の共存共榮共觀そのものを体得して之を首倡し、絶叫して起つ熱烈の愛國運動者でなければならぬ、則ち世を治め人を惠む大策を講ずる爲には、自己の之が信念、死よりも強き把持者でなければならぬ、古今の人に例を取るのは此に煩はしから省くか、尠くとも近世の佐倉宗五郎や現代印度のガンヂーに及ぶ位の犧牲な

電話新設　七二八番
壽司、天丼（てんどん）
御料理仕出し
どうぞ御ひるきを願ひます
平町字南町
喜久水

農業方面

稻苗の腐敗病 此の處置

兆候と防除法

本縣浜通りは一齎に仕農準について早苗も寸餘に伸び水田の耕起荒代に忙はしい、田植の用意が進んでゐるのは双葉郡一帶で次は相馬、石城と云ふ順序であるが苗代に發生する病害で最も恐ろしいのは稻苗の腐敗病で之れは殊に東北地方から北海道の如き寒冷の地に多く發生するもので病狀の概要を上ぐれば、

病原は一種の水生菌であつて被害粁は表面乳白色の膠質物をもつて薄く蔽はれ種子は胚の部分を中心として菌糸を放射狀に叢生する、この菌糸は寒天狀物質が生じ其の表面に綠藻、硅藻が繁殖して青みどろなど丶見あやまられることがある、此の防除法としては種子は傷のないものを播き下すこと人糞尿を施す場合は必ず腐熟したるものを用ひる、そして流酸アンモニア、過燐酸石灰、木灰を併用して有機質のものはなるべく避けること、であつて苗代は日光の透射の良いところを撰び水は温めてから灌漑する、

發生の心配のある土地では種子を流酸銅〇・一…〇・五パーセント液に二時間乃至六時間浸すこと、發病の兆があれば排水して三、四時間後に六斗式石灰ボルドー液を一坪當り四合乃至五合を灌注して五、六時間を經てから灌水する、また二三日を經て藁灰を坪一升位の割合に撒布するとよい、被害の苗は集めて燒却すること、（完）

お醬油は……ヤマフル

醬油味噌 たひら正宗 鰹節食料品

鹽屋 山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本店 二一七〇番 營業部

漢方はりくすり

特約店募集

主効

肺炎 肋膜炎 扁桃腺炎 神經痛 リウマチス 關節炎 中耳炎 骨膜炎 打撲 捻挫 冷痛 凍傷 火傷 蕁麻疹 痔疾

定價 四〇瓦入 五十錢 八〇瓦入 九十五錢 四瓦五袋入 二圓廿錢 四瓦十袋入 四圓

磐城平町 五丁目角 山野邊藥局

雨の日 曇る日 照る日

兼用一御婦人用傘

色無地 ¥2・80 ¥3・80

柄模樣 ¥3・00 ¥5・00

店内に澤山陳列してございます

平4 ツルヤ 電140

一般印刷物も御引受致します 新いわき新聞社

牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は 三三屋 平町田町

内科、小兒科 醫學士 大森勇 大森醫院 平町南町 電二五八番 入院應需

和田屋 金岡和鉄店 良品廉賣は 磐城平町五丁目 電話

油問屋 關内油店 磐城平 電話長16

特約販賣 日本石油株式會社 ガソリン モビール油

支店 茨城縣關本驛前 電話長平源七三

支店 郡山市駅前通 電話長三二八八

油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

平町紺屋町 藤沼醫院 電五〇七番

スペインG・H・N元詰 ゴルフポートワイン 甘味葡萄酒 1・10

婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

（平2） 西村屋藥舗 （電3）

勸業、復興、割引 各債券 現物賣買

平町仲間町 横山商店債券部 電話二七一番 振替東京九〇六一〇

開院 專門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎 平町田町（舊山内醫院跡）電話六九一番

江尻醫院

債券 公債 兩替 金融 多田井質店 平町大工町 電話五九一番